

## 令和2年度第1回 第三次多摩市子どもの読書活動推進連絡会 会議録

日時：令和2年10月5日（月）午後3時～4時

会場：多摩市役所4階401会議室

出席：委員7名（会長、委員6名） 事務局（図書館）2名

欠席：委員4名

### 開会

#### 1 会長（図書館長）挨拶

##### 会長

ただいまから、令和2年度第1回第三次多摩市子どもの読書活動推進連絡会を開催致します。

本日は、4名の委員から欠席のご連絡をいただいておりますが、本日の出席者数7名ということで定足数に達しておりますので会議の方開催いたします。改めまして連絡会の会長の横倉でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

委員の皆さまにはお忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。私の方から一言最初にご挨拶をさせていただきたいと思います。日頃から皆さま関係課、また各学校におかれましては、日ごろより子どもの読書活動推進に多大なるご協力とご理解をいただきまして、誠にありがとうございます。本推進連絡会ですけれども、今年度初めての開催となります。こちらの会議ですけれども、計画の進行管理、また小中学校やボランティアの連絡会等他の会議との総合的な連絡調整等が所掌事務となっているものです。

本日は施策の具体的な取り組みをまとめましたアクションプランをお手元の方にご用意していますけれども、そちらについて内容のご確認をしていただくとともに、図書館の方の取り組みにつきましてご報告させていただくということで進めさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。また本日は1時間ということで短時間の会議となりますので、そのあたりご理解とご協力をお願い申し上げます。それでは次第に沿って進めさせていただきます。まず配付資料の確認です。こちらにつきましては、事務局の方からお願いします。

（事務局）

（資料1から7の確認）

## 2 委員の変更について

会長

それでは、進めさせていただきます。次第の2番になりますけれども、委員の変更についてです。資料3をご覧ください。第三次多摩市子どもの読書活動推進連絡会会員名簿がございますとおり、令和2年4月1日の人事異動がございまして、お一人の委員の交代がありました。本日は欠席というご連絡をいただいておりますので、また次の機会にご挨拶をいただきたいと思っております。

また、他にも、庁内連絡会等他の組織ありますが、10月に人事異動がございまして、まだ確定をしておりますので、本日の資料にはお付けしていません。

また、市民ボランティア連絡会という組織もあり、現在募集をかけていますが、新規の委員の方はいらっしゃらないということで、変更はありません。

## 3 議題

会長

続きまして3番の議題ですが、議題3つございます。

そのうちの(1)でございます。「令和元年度第一回多摩市子どもの読書活動推進連絡会会議録(案)」の確認です。こちらは資料番号がございません。内容につきましては、だいぶ前の3月になりますが、メールでやり取りさせていただきまして、ご確認をお願いしたものでございます。特に修正のご連絡はいただいておりますので、本日この場で承認をいただいて、確定をさせていただきます。なお、確定した後は委員のお名前を消したものをホームページで公開します。また行政資料室にも設置します。こちら内容はひと通り確認をいただいておりますが、承認いただくということで、皆さまよろしいでしょうか。ありがとうございます。

また、本日の会議の会議録につきましては、後程作成し、メール等で確認をさせていただき、その後確定したら内部決定の上、公開とさせていただきます。

続きまして、議題の(2)になります。令和元年度・令和2年度の各推進連絡会の報告となります。こちらにつきましては、事務局の方から、説明をさせていただきます。お願いします。

(事務局)

それでは、令和元年度・令和2年度の各推進連絡会の報告です。まず資料4をご覧ください。第三次計画の推進体制は、上の部分の第二次計画の体制を変更いたしまして矢印の下のような体制となっております。ここにありまして、こちらの推進連絡会は関係課長と小中学校長の11名で構成されております。役割につきましては、設置要綱の第二条に規定しておりますけれども、一点目としまして、第三次計画に基づく子どもの読書活動推進に関し、小・中学校連絡会、市民ボランティア連絡会、及び庁内連絡会の総合的な連絡調整に関する事、二点目といたしまし

ては、第三次計画に基づく子どもの読書活動推進の進行管理等に関する事、三  
点目が、その他子どもの読書活動の推進に関し、必要と認める事項となっております。  
こちらの図のとおり、推進連絡会の下に、3つの連絡会がございます。この三つの  
会議での審議結果を、図書館長からこちらの推進連絡会にご報告をするものでご  
ざいます。

それでは資料5ですけれども、各連絡会の報告でございます。市民ボランティア  
連絡会は、昨年度は全部で4回開催いたしました。各回とも、事業やアクションプ  
ランの報告の他、各イベントや、「子ども読書まつり《ほんともフェスタ》」のあり  
方などについての意見交換をいたしました。今年度は9月に第一回目を開催して  
おります。3ページ目は、小・中学校連絡会でございます。昨年度は1回開催いた  
しました。その中では、図書館が進めていくべき中高生参加型の図書館活動、学校  
と連携しての調べ学習、中学校の読書活動での他校との交流等の施策について、学  
校の先生にご意見を伺いました。企画する講座やイベントは、児童・生徒の知的好  
奇心を満たすものであってほしい、また、参加型の内容にしてほしいというご意見  
をいただきました。このような内容を参考に、図書館で今後も検討していきたいと  
思っております。市内連絡会につきましては、内容は省略いたしますけれども、こ  
ちらに書いてあるとおり、1回開催いたしました。以上でございます。

会長

各連絡会の昨年度の報告でございますけれども、これについて、ご質問、またご  
意見等ありましたらいただければと思っておりますがいかがでしょうか。

委員

小・中学校連絡会と市内連絡会の令和2年度の開催については、予定されている  
のですか。

(事務局)

はい。

委員

今後開催があるのですか。

(事務局)

今年度ですが、新型コロナの関係で、このような遅い時期にはなりましたが年度  
内1回開催する予定で、考えております。

委員

具体的な日程は…。

(事務局)

まだ具体的な日程は、決めておりません。

会長

他にはよろしいですか。

それでは、このような形で各連絡会の方進めておりますので、また進捗につきましては、次の回でご報告をさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

続きまして、議題の（３）でございます。「第三次多摩市子どもの読書活動推進計画アクションプラン（令和２年度版）」、こちらの図書館・関係課分、多摩市立小中学校分です。資料が、今申し上げた２冊の冊子になります。こちらにつきまして、施策の具体的な取り組みの報告等でございますので、事務局の方から説明をさせていただきます。

（事務局）

それでは、資料１の図書館・関係課分の方からご説明をいたします。この令和２年度版のアクションプランでございますが、こちらは令和元年度の図書館・関係課の実績を載せ、また振り返りを行うとともに、令和２年度以降の取り組みを入れてまとめたものでございます。中を開けていただき、１ページのところをご覧くださいますと、わかりますけれども、振り返りというところに、アルファベットでAからEの記号を入れるようになっております。CとDにつきましては実施できなかったものでございますけれども、理由を精査して、今後の進め方を修正したうえで、令和２年度以降の目標を入れているものであります。表紙を開けて、アクションプランについてという説明書きを載せております。共通認識ということもありますので、読んでいきたいと思っております。まず、アクションプラン令和２年度版の考え方でございます。１．このプランは、具体的な取り組みの着実な推進のため、図書館・関係課が自らその実施方法と実施時期の検討を行い、これを目に見える形にしたものです。２．記述について。このプランは、現場で活用することを念頭に作成したため、全体を通しての文章やそのボリューム、文言等の統一は行なっておりません。３．アクションプランの活用について。第三次計画の着実な計画推進のために、それぞれの担当課（作成した課）が実務で実際に使用します。図書館・関係課が相互に取り組み内容を共有し、お互いの計画推進に役立てます。毎年実施する推進状況の振り返りの際に、確認のための資料として使用します。４．アクションプランの更新について。このプランは、毎年担当課が推進状況の振り返りを行い、必要に応じて内容を見直します。このことにより着実な計画の推進を目指します。５．表の見方。この表は、第三次計画の施策順に、各取組事項、「新規事項」「レベルアップ事項」「継続事項」について、担当課の実施内容を一覧にまとめたものです。次のページに行きます。列ごとの表記についてですが、令和元年度の実績が①の列でございます。令和元年度アクションプランで予定していたが実施できなかったC、実施しなかった取組にDに、削除の取消線を引いております。ただし一部削除線のつけ忘れがあります。振り返りの②の列ですけれども、先ほど申し上げました記号

の内容は次のとおりです。ただし、ここにある数値はあくまでも目安です。Aは、予定していた取組内容を全て、または概ね達成できた。数字で言うと80から100%。Bは、予定していた取組内容を一部実施できた。50%以上80%未満。Cは、予定していた取組内容を実施できなかった。0から50%未満。Dは、実施しなかったということでございます。Eは、当初は予定していなかったが、実施した取組がある場合です。備考欄は③の列でございます。実施できなかった、しなかった理由、留意点、補足事項等を記入しています。次に、令和2年度から令和5年度が④から⑦の列で、今後実施する内容と予定です。令和2年度の振り返りの際には令和3年度以降の内容について、必要に応じて見直しをいたします。前年度と同じ場合は、右矢印で示しております。図書館内の部署については、下に書いてあるように、各担当や各係、館の名前を表記することにしております。これが表の見方です。この内容は、今年の4月に関係課からご回答いただいたものを入力したものです。また、先般、各課長にもご確認をいただきました。相当な分量がございますので、ここでの個々の説明はできませんので省略はさせていただきますが、集計いたしました結果をご参考までにご説明いたします。ABCDEとありますが、Aにつきましては全体の68%、Bが12%、Cが11%、Dが8%、Eが1%というふうな割合になっております。ただ、図書館については、係と館ごとに全てAからEの記号をつけており、また全項目に占める図書館の割合が大きいことから、全項目の80%は図書館です。先程申し上げましたAからEの割合は、ほぼ図書館の割合ということでございます。Cとなっている項目につきまして、図書館が多いのですけれども、どういうものがCなのかということ、一応確認をしたところ、ブックリストやリーフレット等の作成が少し遅れております。出張おはなし会などにつきましては、関係課との調整も若干遅れておまして、Cがついているという傾向があるという状況でございます。また、PRや情報提供につきましてはホームページなどの活用もありますが、こちらについても少し遅れているということで、Cが多いということでございます。これが概要でございます。多摩市立小中学校につきましても、同じような形態でまとめました。

## 会長

今、図書館と関係課分のまとめにつきまして説明をさせていただきました。この第三次計画ですけれども、元々の計画の施策と具体的な取組というのが、計画の中でも結構細かく分かれておまして、担当課も図書館だったり関係課だったり、学校というところになっています。そういうこともありまして、この1ページ見ていただくと、左側に施策番号と施策がありますが、かなり細かい具体的な取組がもともと定められておりますので、それに対しての実績、また次の取組をまとめると、このようなボリュームのあるものになり、昨年度もこのような形となっております。

す。この冊子は、先週木曜日に、関係課長、また学校長にお届けしましたが、なかなか細かいところまでは見ていただけていないと思いますが、ご自分の所管のところ、またそれ以外の課での取組について、感想やご意見などあれば、ご発言をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

委員

14 ページのところの「【継続事項】①国際化推進事業」と書いてある表の左から4番目の枠の中の、1つめのところ、「外国人へ情報発信する」と書いてあるのですが、ここは令和元年度実績なので、「した」という言い方にしないと。

これは実施事項だから「実施したこと」ということで捉えてもらえるならそれでもいいのですが。

会長

私もそちら確認をしたことなのですが、まずこの平成30年度の実績のところも、もともとの目標の時は進行形でしたが、実施したり、検討したりしたので、「行った」という形で修正を加えています。それでこの令和元年度の実績のところですが、これをまとめる段階では、こういう目標を立ててそれに対して振り返りがあって、備考欄という形があるので、進行形になっている表現があるのですけれども、ここは令和2年度の振り返りでは、実施したという形に修正をしていきますよね。

委員

左側の30年度実績のところは「図書<sup>・</sup>の調査をした」となっているので…。

会長

結局、令和元年度のところもAという評価のものは継続していくので。来年度の振り返りのときには元年度のところも書き変えるというようなところを予定しているので、今の段階では進行形になっています。昨年度の会議でも、これはある程度実績として公表されるものなので、各課でしっかり見ていただく時間があったほうが良いというご意見をいただいているので、もう一回修正したほうが良いようなところは修正させていただこうと思います。確かに実績のところは進行形になっているところと過去形になっているところがありますが、ここに関しては、この場では実績というのも「図る」とか「実施する」というこのままの表記でいきたいと考えています。

(事務局)

今、過去形と進行形が混在しておりますので、基本的には目標なので、例えばここであれば「外国人へ情報発信をする」という目標に対して、「Aだった」というほうがわかりやすいと思いますので、進行形で統一していくのが良いかなと思います。

また今後、令和3年度を出すときには、完全に実績のところは過去形に変えていきたいと思います。よろしいでしょうか。

委員

令和元年度は「実績」でよいのでしょうか。

会長

もしかして「実績」という言葉ではないほうが良いのかもしれないですね。

委員

「実績」だともう終わっていることかと思ってしまって。

会長

令和元年度が「実績」になっているので、「目標」とは言えないかもしれませんが「取り組み項目」というような形にして、それに対するの振り返りという形のほうがわかりやすいですかね。

委員

「令和2年度のアクションプランですよ」ということで、本当はこの令和2年度のところで、「こんなことやります」が④以降のところですよ。これからの、ということ。それで、その左側は、終わったことなのかなど。

会長

言葉で言うと、「実績」と、「令和2年度の目標」というような形です。

委員

そういうことですか。令和元年度のところは実績であり且つ…

会長

「実績」と、「令和2年度の目標」が両方表記されているということですよ。令和元年度の実績の報告であり、令和2年度の目標の報告ですよ。

委員

④令和2年度から矢印になっているものは、令和元年度の目標を引き継いでいるので、元年度の実績の部分が令和2年度の目標を兼ねているということですか。

会長

そうです。

委員

令和元年度の実績①の「実績」を外すほうがもしかするとわかりやすいかもしれません。

会長

私も今皆さんのお話を聞いていてそう思いました。実績という言葉が違う形に置き換えるか消すのか、違う表記の方がわかりやすいと思います。

(事務局)

そうしたら、削除の見え消し線もほぼ徹底して引かれているはずなのですけれども、逆にないほうがよろしいでしょうか。

委員

これは、実施しなかったら削除の見え消しになっているということですか。

(事務局)

そうです。あくまでも実績と書いておりますので、削除しているというのは実施できなかったから見え消し線で削除したということです。

委員

2番目にある企画のものは見え消し線で消えていますが、Cになっていますよね。Dなら消してもよいかと思います。Cだったら0%以上50%未満でやったということですよ。

委員

でも0%だからやってないのではないですか。

委員

ではDではないですか。

委員

CとDが混在していますよね。

(事務局)

Cは予定していた取組を実施できなかったということで、50%未満はできなかったという評価にしましょうということで見え消しを付けました。Dは実施しなかったという表現ですので、何らかの大きな理由があって、敢えて実施しなかったという場合です。

委員

コロナによってできなかったというような場合ですか。講座そのものが開催できなかったというような。

(事務局)

そうです。少し厳しいかもしれませんが、50%未満は結果として実績には載らないというような形で整理をいたしまして、Cの場合も、削除の見え消し線を引いているということでございます。

委員

令和元年度実績と書いてあることは、令和元年度に予定していた取り組み事項がここに載っていて、それに対して振り返りAと書いてあれば実施したということで、Cと書いてあれば実施しなかったということであっていますか。

(事務局)

そうです。次の年度のアクションプランにはCのところの見え消し部分は消えます。もう出てこないということです。

委員

そうするとすっきりするかもしれないですね。

委員

今回については、例えば見え消し線は引かないでそのまま残してCやDにするということですか。

(事務局)

こちらで取り消し線をつけ忘れた部分がありますが、取り消し線をつけ忘れないかもう一度確認しますが、基本的には今はCとDは全部見え消し線で消えているはずで、「同左」というのも実施していなければ、消しているはずで。

委員

今は案の段階ですが、決定になったときも、このまま残りますよね。

(事務局)

残ります。

委員

そうですね。なかったことにして全くまっさらにはならないですよね。

(事務局)

令和3年度版では完全に消えて、表に出てこないです。

委員

わかりました。

(事務局)

では「実績」のままでよろしいですか。

会長

「実績」は「取り組み事項」などに言葉を変えたほうが良いのではないですか。

委員

「取り組み事項」が良いと思いました。

(事務局)

わかりました。

会長

「取り組み事項」という表記にするよう検討します。

(事務局)

それでCとDの場合は見え消し線で消すという形で。

委員

見え消しはなしでそのまま残すんじゃないですか。

委員

これは令和元年度にやる予定だったものだというような捉え方をするなら、見え消しをしないで残すので良いのかなと。見え消しにしないということですよ。

会長

線を消すということですよ。

委員

はい。やったのかやっていないのかはCと書いてあるからやらなかったのだなと。

会長

見ればわかるということですね。

(事務局)

では、見え消し線を消すということで。

会長

今お話しいただいたような形で修正をして、もう一度メールで確認をしていただきます。

ご自分の課の取組について感想やご意見等ありますか。取り組み事項として進めているけれど予定とは違う内容にしていたほうが良いなどの感想はありますか。

図書館の方は先ほど事務局からもありましたが、ボリュームがあるためPRやリーフレット作成など、本来基本的にしっかりやっていかなければならないところが、なかなか進んでいないということがわかりました。そして、こういった形でまとめるよりも、こういった形でまとめつつ、図書館の場合は7館あるので、各館の進捗のヒアリングを直接しながら、ここに実際の実績を落とし込めるように、係として、進捗確認をしっかりしていく必要があると、今回実績を見て改めて私は感じたところです。

特にご意見がないようであれば、図書館・関係課の分は今言った形で修正させていただきます。

次に、小中学校分についてです。

(事務局)

こちらと同じ様式にまとめておりまして、アクションプランの説明事項もほぼ同じでございます。こちらにつきましては相当分量が多いので、AからEにつきましても、こちらで数えて割合などは出してはおりません。これは各学校の学校図書館司書、司書教諭の方が書かれたものを、校長先生が確認をされて、私どもの方に提出されたものをそのまままとめたということです。以上です。

会長

こちらの小中学校分についてですが、こちらは各施策の中で学校の取り組みとして、計画の段階で位置づけられている施策について実績をまとめたものになります。先ほどの説明もありましたとおり、取り組みの実績と令和2年度以降の取り組みについてまとめたものになりますので、こちらについては特に委員の皆さまにご意見をいただくということよりも、こういった形で実績の報告をしたいと思っております。

各学校、こういった形で毎年度の取組をまとめて、次にこういった取組につなげ

ていくかを明確にまとめていただいているので、学校図書館司書や司書教諭の方からは、進捗がよくわかるというご意見をいただいています。

本日校長先生もいらしているので、皆さんともご確認をしたいところですが、こちらは各学校現場で活用していただくということが目的という中では、先ほども説明しましたように、元年度の振り返り欄というところと備考欄を設けております。このような形でまとめておりますので、できましたら、これを全学校に配布させていただいて、さらに読書活動の振興に関係があります市民ボランティア連絡会や図書館協議会の方に実績として報告をしたいと考えておりますし、行政資料室にも資料として設置をしたいと考えているところです。ただ実は、昨年度が実績の初めての振り返りということもあり、各学校の情報、振り返りのAやBやCをどこまで共有するかを具体的に話し合う機会がなく、昨年度は振り返り欄と備考欄はない形でまとめて、それを各学校に配ったところです。先日、学校図書館司書の研修の中でご意見をいただいたときに、学校図書館司書の入れ替えや教職員の異動もありますので、実績とそれに対する振り返りがどこまで進んだのか、例えば振り返りがCならどういう理由でCだったのか、それを踏まえて令和2年度はこういう目標にした、とわかるようにまとめた方が、そしてそれをさらに校長先生や副校長先生に見ていただいた方が、学校の取組もよく分かるから、振り返りや備考欄があるものを学校に配っていただいても学校図書館司書としては特に問題はないというご意見だったのですが、冊子として出すと公開になるので、そのあたりについて本日この場でご意見をいただければと思っています。図書館や関係課は、目標に対する進捗については通常まとめたら公開をしていくことになっていますが、これは学校の、あくまでも実務レベルのものなので、そこをどこまで皆さんで共有するかについてはまた実情も違うかと思っておりますので、今日校長先生もいらしていますのでご意見をいただければと思います。

#### 委員

作成する段階において「公開するものであった」ということを各校どのくらいわかっているのかな、と。どちらかというと、自分たちの取組をこの計画に基づいて作っていったら、年度の中で少しでも向上させるには何年度にどういうことをやっていこうというのを作って、できていないところについては「ここはまだうちの学校はできていない」というのはまとめたりしていますが、それが例えば他校レベルまでの公開なのか、一般市民まで含めての公開なのかで言ったときに、だいぶ意味が変わってきてしまうと思います。おそらく各学校の校長からすると、そのあたりの捉え方というか、公開までの認識はばらついていると思う。今いきなり「公開です」と言われたとき、それに対し仮に意見をいただいたときに対応できるのかということも含め、準備は必要だと思います。いきなりの公開はちょっと。ただ、他校のものは参考になるというのは当然あります。「他校と比べるとここはうち弱いよ

ね」というのはすごく参考になりますので、自分のところを良くしていくために良い資料にはなっています。市民や一般の方まで見ると、また性格が変わってきてしまうのではという危惧があります。もう少し時間というか、趣旨を説明してから公開をしていくという形なら道はあると思います。

会長

図書館として考えたところでは、ここはあくまでも連絡会というところなので、そういう場では学校がどういった取り組みをしているか、こういった形の評価が入っている資料で皆さんからご意見いただくのが良いかと思いましたが、このような形で出しました。ただ「冊子としてまとめました」と出すものに関しては、昨年度と同じように実績のみを入れたもの、ただ昨年度も各学校の実績は入っているのですけれども、そういった形でお出ししようとは思っているのですけれども、それでよろしいですか。

委員

それは大丈夫だと思います。

会長

そういう形で扱いたいと思います。

(事務局)

確認ですけれども、各学校にはこの資料2にあたるもの(事務局注：第三次多摩市子どもの読書活動推進計画アクションプラン(令和2年度版)【多摩市立小・中学校分】)を1、2冊お送りしてよろしいですか。

委員

参考になりますのでいいと思います。

(事務局)

市民ボランティア連絡会や図書館協議会など外部に出すものは、昨年のように振り返りや備考欄のないものにするということにします。

委員

そうしていただけると、今はありがたいです。将来的に全部公開というのはありうるとは思っていますので、ただその場合にはそれを最初に言って、やっていく手順をもう一度ちゃんと踏んでいただいたほうがありがたいです。

会長

それでは、計画自体が6年間の計画なのですが、今年度で3年終わって、来年度がある意味振り返りというところになってきます。そのときどういう形でまとめるかという話を事前に学校の方で調整といいますか、連絡をして確認させていただきたいと思います。

委員

小中学校別の校長会がございますので、そういうところで話題にしてからやっていくのが良いかと思えます。

会長

ありがとうございます。

学校の方は、私もひと通り言いましたが、やはり積極的に進めるような形でやっていたらいいので、振り返りも数値で言えばAやBが多いですし、各学校がそれぞれの学年でこういうことをやっているということも書いていただいたりもしているので、私たちもどういうことに学校が取り組んでいるのかがわかりますし、各学校も参考になるかと思えますので、各委員の方も、学校では読書活動についてこのような取組をしているということ、これを見て知っていただければと思います。よろしく願いいたします。

特にご意見などはよろしいでしょうか。ご意見等いただきましたので、まとめていきたいと思っております。

時間が近づいてまいりましたので、令和元年度の図書館の取り組み実績の方をご報告させていただきたいと思えます。事務局の方お願いいたします。

(事務局)

それでは資料6「令和元年度多摩市立図書館の主な取組や実績」でございます。分量がありますので主だったところだけピックアップしてご説明いたします。

施策番号1「本の情報提供」についてでございます。学校図書館だよりというものを各小中学校でお出しになっているのですが、その紙面に多摩市立図書館からのおしらせを載せていただきたいということで、今年の1月くらいにお願いをいたしました。そうしましたら小中学校合わせて8校にご協力いただけまして、図書館の案内を子どもたちに見てもらうことができました。それが一点目です。

もう一つが多摩市特別支援教育推進計画改訂における市民ワークショップで、これは教育センターが主催されましたけれども、その会場で、主に支援が必要な児童・生徒向けの図書、布の絵本、大活字本、点字付き資料などの展示と説明を行いましたところ、非常に参加者の方に興味をもって見ていただけて、また図書館のPRにもなったと思っております。

施策番号5のところでございますけれども、重点施策である「蔵書の充実」でございますが、近年、図書館では外国語の学習や多文化への対応に役立つ図書、また日本語を母語としない子どもへ提供する図書の購入を本格的に始めました。2年くらい前ですけれども、国際交流センターおよび教育センターへのアンケート、あるいはヒアリングなどもさせてもらいまして、そのニーズをもとに現在進めているところでございます。今後の課題は学校の児童生徒、保護者の方に、もう少しPRを進めまして、実際に手に取って見てもらえるチャンスを増やしていきたいと

思います。

次の施策番号9、こちら重点施策でございます。「支援の必要な子どもたちへの取り組みの推進」ですが、LLブック、大活字図書、点字図書、このような図書につきまして、セット貸しを始めました。セット貸しというのは、希望する小中学校に、サンプルを組みましてセットでお貸しするという事です。受け取った学校はそれを棚に並べて、児童生徒にすぐ見てもらえるというセット組ですけれども、小学校は特別支援学級セットということで8校、中学校は1校、また中学校には学校図書館用セットというものも作りまして2校ということで、今実績が出てきております。

裏面にまいりまして、真ん中ですがこれは複数の施策番号に該当するものでございますが、第三次計画の施策の実現に向けての情報収集・情報共有のため、図書館の方から昨年度、全小中学校へアンケートを実施いたしました。これは各学校の実態調査をするものでございます。こちらの内容をまとめたのが、最後につけております資料7でございます。項目としましては、「よんでみよう」1・2年生版の改訂について、各学校でのボランティアの読み聞かせの活動状況、また学校図書館間を結ぶ物流システムの導入について、教員向けの研修についてなどの項目につきまして、各学校からの回答をこちらにまとめております。また後程見ていただければと思います。以上です。

会長

事務局の報告以外にも、例えば児童館や児童クラブに団体貸出をしていますが、図書館で本を選んで100冊単位のセットにして貸出をするということも始めています。また引き続き各関係課にご協力をいただきながら、施策を進めていきたいと考えております。

図書館の取り組みですけれども、何かご質問・ご意見等ございましたら、いかがでしょうか。

委員

感想というか報告ですが、施策番号1の中の2番目にある、多摩市特別支援教育推進計画改訂における市民ワークショップの会場で、LLブックやデージーを並べていただいたのが本当に良くて、参加者からも「本当に具体的に見られたので良かった」というご意見がありました。お子さん自身も実際に手に取って見られるので、施策番号9で活用されているのを見て、すごくいいなと思いました。やっぱり実際見ると私たちも読みやすいです。なので、そういうところをすごく良い支援をしていただいたなと感謝しております。また今後もどうぞよろしく願いいたします。

会長

こういった場を提供いただければ図書館ではご紹介するために出向いたりということもできますし、今、幼稚園や保育でも特別支援の関係で、支援が必要なお子さんもいらっしゃると思いますので、図書館にはいろんな資料もありますので、紹介する場がありましたらお声がけいただければ、もともと施策にないようなものであっても、取り組みとしてやっていきたいと思います。そういった情報があれば、いただければと思います。

他には、いかがですか。よろしいでしょうか。

#### 4 次回の日程について

会長

それでは議題につきましてはひと通り終了とさせていただきます。年2回程度会議を開催したいと考えているところですが、今年度はコロナ禍の状況にございまして、一回目の開催がこのような時期になりました。今後、検討いただくような内容が生じましたらまた開催したいと思っておりますが、今のところはまた最後の方にもう一回できるかなというところがございます。確定した場合は改めてご連絡します。これで終了とさせていただきます。本日はお忙しい中ありがとうございました。

閉会